

相原中学校だより

拓け 夢を、
築け 人生の礎を

熟考力（しっかり考える） 実践力（思いや考えを行動に） 意志力（自分に負けない）

ご入学・ご進学おめでとうございます

校長 伊藤 隆一

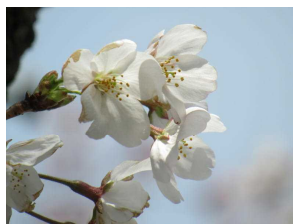
本年4月1日付けで相原中学校に着任しました校長の伊藤隆一（いとうりゅういち）です。どうぞよろしくお願いいたします。前任の江戸谷智章校長先生はじめ歴代の校長先生・教職員が築いてこられた40年以上にわたる相原中学校の良き伝統をしっかり継承し、保護者・地域の皆さまの期待にお応えできるように、全力を挙げて努力してまいります。

さて、相原中学校ですが、177名の新入生を迎え、全校生徒567名で令和2年度をスタートしました。始業式・入学式は何とか実施することができましたが、ご存じの通り、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国より非常事態宣言が神奈川県を含む7都府県に出され、臨時休校が5月6日まで延長されました。現在、5月7日の学校再開に向けて、教育課程の再構築、年間計画の見直しを図り、安全・安心な教育活動が行えるように準備しております。どうぞ、ご家庭・地域におかれましてもご協力・ご支援をお願い申し上げます。



【入学式 式辞より（抜粋）】

中学時代は男の子から男性へ、女の子から女性へ変身していく時です。体の成長に心の成長がなかなかついていけない時期です。お父さん・お母さんや先生方から、あるときは「もう、大人なのだから」と言われ、またあるときは「まだ、子どもなのだから」と言われます。そんな大人に対して「大人か子どもか、どっちかにしてよ」と反発し、背伸びしながら大人になっていく時期です。背伸びするからつまづく時期、つまずきや失敗から学ぶ時期です。小学校六年間で学んだことを土台として、社会に巣立つために必要な力をこの三年間で鍛えていきます。先生方は各教科の授業や自治活動における学びを通して、皆さんの個性と自主性を育てます。中学校生活を通して、皆さんには、学ぶことが大好きなかしこい人になってほしいと思います。義務教育仕上げの三年間となります。



春風や 闘志いだきて 丘に立つ

この高浜虚子の俳句は、自ら目標を立て、それに立ち向かうときの決意表明をあらわしています。「おお、吹きさす春風（しゅんぷう）よ、我々はこれから厳しく困難な目標に立ち向かい、挑戦していくのだ」といった意味です。今、皆さんの気持ちはいかがでしょうか？中学校に入学して頑張ろうという意欲に燃えていますか。

人間は、誰しも楽をしたいと思います。でも、今の自分をもっとよくしたい、向上させたいという気持ちがあることも事実です。入学式はこのような気持ちの切り替えに一役買ってくれる機会、人生にとって大切な節目であります。相原中学校の先生方もこれからの成長を決意している皆さんと一緒に頑張っていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

相原中学校の教育

令和2年度は、以下の学校教育目標の具現化を目指し、本校の学校教育を推進してまいります。

■学校教育目標

「自ら学び、人間性豊かに、たくましく生きる生徒を育てる」

■校訓 「拓け 夢を、 築け 人生の礎を」 挑戦 共生 感動

■目指す学校像

- 学力のつく学校
- 生徒が主役の学校
- 豊かな心を育む学校
- 健やかな心身を育む学校
- 地域と共に歩む学校

■目指す生徒像

周りを思いやり、目標に向かって根気よく努力できる、心豊かで元気な生徒

■3年間（平成30～令和2年度）の重点目標

- 熟考力（しっかり考える）
- 実践力（思いや考えを行動に）
- 意志力（自分に負けない）

